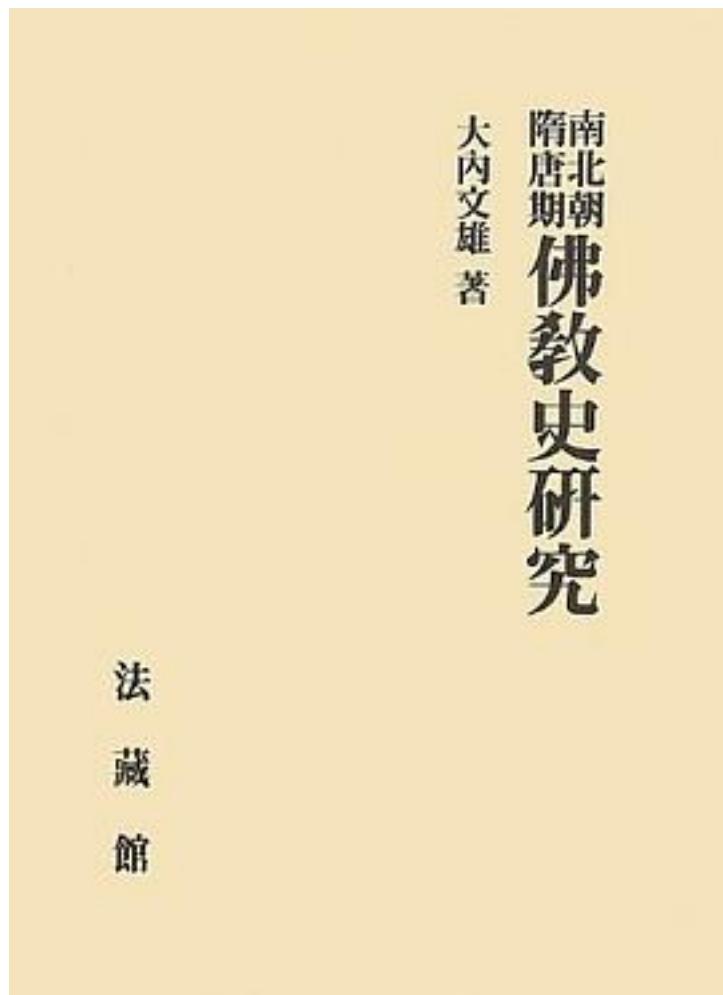


南北朝隋唐时期佛教史研究



[南北朝隋唐时期佛教史研究_下载链接1](#)

著者:大内 文雄

出版者:法藏館

出版时间:2013-5

装帧:单行本

isbn:9784831872845

隋～唐代において、仏教の正当性や重要性はどのように記述されたのか。史書・碑文・塔銘などの史料をもとに、同時代人の歴史観や仏教観を明らかにし、隋唐期の仏教

の史的展開を詳論する。貴重拓影多数掲載。

作者介绍:

目录: 第一篇 『歴代三寶紀』 の研究
中國中世佛教史における史學史的展開過程
第一章 經緯と史書 魏晉南北朝隋唐期における佛教史編纂の試み
第二章 中國撰述佛典と讖緯 典籍聚散の歴史を契機として
第三章 梁代佛教類書と『經津異相』
第四章 『歴代三寶紀』 の成立と費長房の歴史觀
第五章 『歴代三寶紀』 帝年攷
第六章 中國佛教における通史の意識
第七章 『大周刊定衆經目綠』 の成立と譯經組織
第二篇 中國中世佛教の地方的展開序
第一章 梁代貴族佛教の一面
第二章 六～七世紀における荊州佛教の動向
第三章 北朝末隋初における襄陽と佛教
第四章 六～七世紀における三論學傳播の一面
第五章 六～七世紀における四川佛教の動向
第六章 中國における石刻經典の發生と展開
第七章 北齋佛教衰亡の一面
第八章 隋唐時代の寶山靈泉寺
• • • • • (收起)

[南北朝隋唐期佛教史研究 下载链接1](#)

标签

佛教

魏晋南北朝

宗教

魏晋南北朝史

南北朝隋唐期佛教史研究

日本汉学

海外中国研究

计划

评论

二刷，比较笨拙，但和诹访先生的书一样是这个时段的基础研究。最有价值的信息是对石刻佛经的介绍。地方展开的几章，以安州慧嵩为中心，其他几章颇有些重复。

[南北朝隋唐时期佛教史研究 下载链接1](#)

书评

[南北朝隋唐时期佛教史研究 下载链接1](#)